

# 私の大好きな「盛岡」を世界に

黒石野中学校

千葉

小百合

旅行から帰って来るとき、新幹線の窓から盛岡の街並が見えはじめ、遠くに岩手山が見えた時、私はいつも不思議に落ち着くのである。それは、盛岡の街は遠くの山々まで見渡せ、身近に変わりゆく四季を感じとれる澄んだ空気に囲まれた街であり、また街の中にはりながら鮭が帰って来る水のきれいな川の流れれる街である。そしてそこに住んでいる人達も心があおらげて優しい人が多い。

つまり、盛岡市は自然が豊かで、人達の心も暖かく住みよい町だと感じており、大好きな古里に帰って来たと実感が沸くからである。私はこの街の良さを世界の人々に発信し伝えるためには、どうしたら良いか考えた。

日本は今、来年に延期になってしまったが東京オリンピックの開催を控え、また近い将来岩手では「つ」という国際リニアコライダ」というものを誘致しようと頑張っている。

今の日本は、岩手県も盛岡市も色々なイベントや大会・行事などで世界から注目される時である。

新型コロナの病気が収めれば、盛岡市は世界からオリエンピック選手の競技の練習地として、また「」では、岩手県の県庁所在地である関係から科学者とその家族らも、多く訪れて来ることになるだろう。

私は、この大好きな盛岡の町を、外国から来た人たちに、町の名所・歴史・文化・郷土

料理の紹介をしたりするおもてなしをして盛岡のことを良く知つてもらう活動をして友情や信頼を深めることを提案したいと思う。

言葉や文化、宗教や肌の色・考え方が違つても、人の心は皆同じだと思うし、盛岡の人々の特徴である親切な心で接すれば直ぐに外国人から来た人と仲良しになれると思う。

ただし、盛岡の人の欠点は引っ込み思案で遠りよ深く地味な人が多いことだ。

以前、東京に行つた時電車や街の中で外国人

の人が非常に多いことを感じた。私の父は、「近いうちに盛岡にも外国人の人多く来てめずらしくなくなるだろう」。

と言つて、いたが、外国人の人と接しようとする何故か皆、尻込みしてしまう。

私をはじめ、これからの人達は外国人と接する時、いつまでも引つ込んでおらず、自分の心の扉を開きあやしい英語や方言が混じつてもかまわなく積極的に話しかけて交流を深めていけばやがて巴が通じて、そ

れが国際親善となり外国と盛岡の距離を縮めることがありますると思う。

私には夢がある。それは、世界に駆け回れるバレリーナになることだ。世界中でバレエを通じて盛岡の町をアピールし、世界の人達に盛岡の良さを知つてもらう活動をしたいと思ふ。今でもレッスンに励んでいる。